

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業点検・評価調査

3-10

3-10

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	文化財等保存修理
	節			
事業(施策)名	10 重要文化財の修理・整備		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
			関連団体	県文化行政課
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】	○国重要文化財「旧佐渡鉱山採鉱施設」の保存活用計画や調査研究に基づく国重要文化財の修理や整備事業を推進し、構成資産の適切な保全を図る。		
	【事業内容】	○文化庁や専門家の指導のもと、長期的な視点に立った修理・整備計画を策定し、構成資産の価値を保護するための適切な修理や整備を行う。		
事業計画と実績	【30年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●重要文化財建造物の修理工事に着手する。 ●各年度予算の平準化に努め、持続可能な事業計画となるよう、全体計画の見直しを図る。 		
	【30年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●重要文化財建造物の修理工事に着手した。 ●事業計画の見直しを図った。 		
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■最新の研究成果や他自治体の事例、専門家の指導内容を常に考慮しながら、修理・整備計画を更新する必要がある。 ■指定物件の劣化・破損状況により、修理期間の長期化や予算規模が増加する傾向にある。 		
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■国や県、専門家と更なる連携を図り、最新の研究成果を取り入れた修理内容や計画変更の更新に努める。また、他の修理事例を参考に、事業期間や事業費の精査を行う。 		
事業評価	【事業の達成度】	[a (b) c]	◇概ね計画どおり、目標を達成できたことからBとした。	
	【事業実施の効果】	[a (b) c]		
	【総合評価】	[A (B) C]		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。